



夢への挑戦!



自信と誇りと感謝を胸に!

小野中学校だより
第7号

文責：校長 大河原久宗
2019.5.27.MON

TEL:72-3355 FAX:72-2829

<教育目標>

- 【夢～自立・友愛・健康】
- ・課題を持ち、進んで学ぶ生徒
 - ・互いのよさを認め、高めあう生徒
 - ・健康で、心身を鍛える生徒



「チーム小野」の仲間たち!



熱くなれる何かと、一緒に力を合わせる仲間がいれば!

$1 \times 2 = 3$ $1 + 1 = 3$ 数学の世界ではもちろんこんな数式は成立しません。しかし、私たちの生活の中では立派に通用するのです。

一つのことについていつも2倍熱中すると、その成果は2倍以上になって表れます。同じ目的で行動する人が2人いて、力を合わせると3人分ぐらいの力が発揮できます。

考えてみると、私たち一人一人はたいした力がなくても、すごく大きな力が発揮できるチャンスがあるのだということがわかります。いままでの生活を思い返してみると、そんな経験があることに気づくのではないのでしょうか。

「人は『ノ』(ヒト)と『へ』(ヒト)が支え合っている」と「金八先生」で武田鉄矢さんが話していたのを覚えています。

人は成長するにつれ、同じ興味や関心を持つ友人に強い仲間意識を持ち、夢中になって語り合ったり活動したりします。ちょっと失敗しても仲間がカバーしてくれる。弱気になれば励ましてくれる。また、頼りにされていることを感じて生きがいに似た充実感を持つこともあります。そういう心強さを覚えたとき、実によい仲間に出会えたと思うのです。

いろいろな人がいますが、同じ活動をしていくうちに、今まで知らなかった面を知ったり、自分でも気づかなかった面を引き出してもらったりします。そうして互いに支え合い、信頼関係を深めていくこととなります。そんな中でも、時には相手の意見を批判しながらも互いのよさを認め、自分を変えるエネルギーを生み出して、一緒に成長していける関係が真の仲間だと思います。この仲間づくりに、性差や年齢差はまったく問題になりません。かえて広い視野に立って力を合わせることができたりします。学年、学級、行事、委員会、部活動などなど、私たち教師も子どもたちと一緒に活動しているのです。

何かに熱中できるものがあると、人生は楽しくなります。元気に生活が送れるし、いつも張り切っています。積極的にいられるから自然により結果が向こうからやってきたりもするのです。熱くなれる何かを持っていますか? そして、一緒に力を合わせられる良き仲間がいますか? 1×2 が2ではなく、 $1 + 1$ が2ではなく、無限大であるということを実感できるよう頑張りたいですね。

田村支部中体連総合大会 選手激励会でのエール!

1年前、先輩から引き継いだ新しいチームは、日々「101%の努力」で暑い夏の練習にも耐え、秋の新人戦で初めての公式戦を経験し、秋から冬にかけての長い練習期間を乗り越え、いくつかの練習試合や大会を行ってきました。1年を懸けて行ってきた「101%の自分の練習」。1年を懸けて行ってきた「101%の自分たちの練習」。どうか、自分が行ってきた練習や自分たちが行ってきた練習を信じて下さい。自分を自分たちを信じることから自信が生まれてきます。『自信』という文字は、『自分を信じる』となっているでしょう。

「101%」の練習を積んできた自分や自分たちを信じるのが『自信』につながります。自信を持って、試合に臨んで来て下さい。応援しています! 頑張れ!

